

第2次 Edogawa ごみダイエツトプランの策定にあたって



江戸川区では、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組んでいます。SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、平成27年9月の国連サミットにおいて示された平成28年から令和12年までの国際目標です。

SDGsは経済（経済的な豊かさ）、社会（一人ひとりの人権の尊重）、環境（地球環境の保護）の3つのバランスをとり、将来まですべての人が平和で豊かに暮らせる世界を実現する取り組みです。「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成されています。

まだ食べられる食品が捨てられてしまう食品ロスの問題や、プラスチックごみの焼却に伴い発生する温室効果ガスの問題、非常時におけるごみ処理の問題など、ごみに関連する課題はSDGsの取り組みと密接に繋がっています。

今回策定しました第2次Edogawaごみダイエツトプランでは、令和3年7月に本区で施行されました共生社会の実現に向けた決意表明ともいふべき「ともに生きるまちを目指す条例」や、SDGsの趣旨を踏まえて「**日々の暮らしの中で物を大切にすゝ豊かな心が広がり、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、ともに力を合わせ「循環型社会の形成」に取り組む、SDGs未来都市・江戸川**」を将来像として掲げています。

本計画では、この将来像を実現するため、「区民一人1日あたりの収集ごみ量」を10%削減することを目標として定め、食品ロスの削減やプラスチック資源循環の推進などを重点施策としています。これらゝの施策を確実に執行することで、SDGsの取り組みを加速させるとともに、将来像の実現を目指してまいります。

SDGsの目標を達成し、誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するためには、皆様の日々の取り組みが大切です。今後も、区民、事業者、区が協働してごみに関連する課題に取り組んでいく必要があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年3月

江戸川区長 齊藤 猛

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS